



#コロナに負けるな

まちが輝く!市民活動のすすめ

問合せ 市民協働課地域コミュニティG ☎55-9298

皆さんは、ご近所の方にあいさつをしていますか？

人とつながることで、有益な情報を得る機会が増えたり、困りごとに協力してくれる人が現れたり、皆さんの暮らしを豊かにする出来事も増えるのではないのでしょうか。

ご近所で会った人とのあいさつや、地域での美化活動、興味がある活動への参加など、あなた自身ができることをできるタイミングで行うことで、様々なつながりができるはずです。

コロナ禍で人と人が触れ合う活動は難しいですが、心と心がつながる取り組みについてご紹介します。



市民活動団体の方にインタビューしたよ!

- Q1. コロナ禍でどのような活動をしているの？
- Q2. コロナ禍でも活動できる強みは何？
- Q3. 市民の皆さんへのメッセージをお願いします!

宮川町1丁目町内会による「地域の清掃活動」



▲宮川町1丁目町内会の皆さん



▲清掃活動の様子

- A1. 除草や落ち葉の掃除、通行の妨げとなる枝葉の剪定などの清掃活動を毎月2回、町内会の有志で行っています。
コロナ禍ではマスクを着用して作業をするので、少々しんどいですが、やりがいを持って頑張って活動しています。
- A2. コロナ禍であっても、町内の皆さんが地域の清掃活動に積極的に参加して下さることが非常に心強いです。
また、安否確認や情報交換の場としても活用し、町内の絆を深めています。
- A3. 和気あいあいとした清掃活動が終わった後は、充実感や達成感を得ることができます。
また、早朝の活動では、中学生が登校する際、大きな声で「おはようございます」と挨拶を返してくれることで心が温まり、元気をいただいています。

神守小学校区コミュニティ推進協議会による「ラジオ体操」



▲神守小学校区コミュニティ推進協議会の皆さん



▲ラジオ体操の様子

A1. ラジオ体操や、おしゃべりサロン、健康体操教室などを開催しています。中止となってしまいましたが、分散型のイベント「コミュニティ防災・健康ひろば」も企画しました。

以前は多くの人に集まっていただける行事を企画していましたが、少人数で回数を増やしたり三密を避けたりと、安心して参加いただけるよう工夫しています。

A2. 若い役員の皆さんがやる気にあふれ、積極的に意見を出してくれるところです。

また、どんな意見が出て、どうしたらできるかを一緒に考えてくださる経験者の方々が、新たなチャレンジの支えになっています。

日ごろからSNSでコミュニケーションを取っているため、コロナ禍でも良い関係が築けています。

A3. 神守コミュニティの活動を発信しています。

ぜひLINEのお友達登録をよろしくお願いします。



つしまこども食堂による「つしまに笑顔をお弁当でつなげます」



▲つしまこども食堂スタッフ



▲お弁当配布の様子

A1. 昨年度はこども食堂応援事業として、津島市、商工会議所、市内飲食店、小中学校、地域コミュニティなどのご協力のもと、全小学校区に約3,100食のお弁当をお渡しできました。

今年度はフードバンク愛知からの米3,300kgを教育委員会、小学校のご協力のもと、1,100の子育て世帯にお渡しできました。

その他、お弁当や食材などの配布などを月1回のペースで開催しています。

A2. 食材の寄付やその取りまとめ、配布する場所の提供、お手伝いなど、たくさんの方々のあたたかい思いが活動の支えとなっています。

そして、いつでも楽しく活動するスタッフのおかげで活動が継続できています。

A3. 子どもたちの笑顔があふれる町となるように、微力ですがこれからも頑張りますので応援よろしくお願いします。



▲Facebook

このほかにも市内では多くの市民活動団体が活動しています。市民活動に興味がある方は市民協働課へ!